



多様性に対応した 文化的謙虚さ

多様な文化や価値観が交わる社会のなかで、
ソーシャルワーカーには、自分の文化、特権、限界を知り、
他者との差異を学び続ける姿勢＝文化的謙虚さ
(Cultural Humility) が必要とされています。
文化は、国籍や人種に限らず、性別、ジェンダー、
年齢、障害の有無にも適用できる考え方です。

研修では、異なる文化に遭遇した時の自らとその対応を
検討する機会にします。中堅以上対象研修と
初任者対象研修を分けて開催します。

2025年度研修を基に、実践への応用を加えた
改訂版プログラムです。



講師 大谷京子



山口みほ



日時 2026年9月12日(土) 13:00-16:00

場所 日本福祉大学名古屋キャンパス南館
名古屋市中区千代田5-22-35

対象 実践経験5年以上のソーシャルワーカー

定員 40人

参加費 無料

日本福祉大学ソーシャルワークスーパービジョン研究ハブ

本研修は、文化的謙虚さ訓練/研修プログラム開発研究の一環として実施します。
JSPS科研費 JP24K05373の助成を受けています。
研究の趣旨をご確認のうえ、お申し込みください。

お申込み: <https://sw-culturalhumility.peatix.com>



あなたの「あたりまえ」は、 誰にとっても「あたりまえ」？



「クライアントの利益を提案しているのに、相手にうまく伝わらない」「相手の背景を理解して関わっているけれど、かえってステレオタイプに捉えてしまっているのかもしれない」そんな経験はないでしょうか？

文化的謙虚さは、相手の文化を知るだけでなく、自分の価値観、あたりまえを問い直し、自分が持つ先入観や特権、支援者としての力に気づきながら、相手との関係のなかで学び続ける姿勢です。

そこで本研修では、①自分の中にある先入観や価値観に気づくこと、②継続して省察するためのヒントを得ること、③実践の中で多様な文化に対応する方法を理解することを目的とします。

【研修で一緒に考えること】

- 文化的謙虚さとは何か
- 私の「あたりまえ」を振り返るリフレクティブワーク
- 思い込みを手放し、相手から学ぶ支援

【こんな人におすすめです】

- ・ 多様な背景をもつ人への支援について考えたい方
- ・ 自分自身のバイアスや「当たり前」を振り返ってみたい方
- ・ ソーシャルワーカーの持つ「力」について考えたい方
- ・ ソーシャルワークや対人援助に文化的謙虚さを取り入れたい方
- ・ 「多文化理解」や「多様性理解」の次のステップを学びたい方



ご参加をお待ちしております！

日本福祉大学ソーシャルワークSV研究ハブ

本研修は、文化的謙虚さ訓練/研修プログラム開発研究の一環として実施します。JSPS科研費 JP24K05373の助成を受けています。

お申込み：<https://sw-culturalhumility.peatix.com>

申し込み締め切り 9/10

